

10月 ようちえんだより

幼保連携型認定こども園
 西神戸YMCA幼稚園

「アーサー王誕生物語 ～王様の剣～」

はるか昔、勇猛果敢な騎士たちが活躍していた時代、偉大なウーゼル・ペンドラゴン王がイギリスの国を治めました。慈愛に満ちた王は国民からの信頼も絶大で国は安泰でした。

しかし国王が亡くなるとイギリスには王位を継承する者がおらず混乱が続き、紛争が絶えず、国は戦に引き裂かれみるみるうちに荒れ果ててしまいました。

そんなある日、ロンドンの教会で不思議なことが起こりました。朝のミサが終わる頃、大理石のような石が教会の庭に忽然と現れました。その石の上には、金色の剣がグサリと突き刺さっていました。剣のつかには金の文字で「この剣を引き抜いた者が、イギリスの国王になる」と書かれていました。若者は我先にと力づくで剣を引き抜こうとしましたが、誰も剣を引き抜くことは出来ませんでした。

ロンドンから離れた森の奥のエクターさんのお屋敷にアーサーという男の子が召使として働いていました。アーサーの仕事はお皿洗いや掃除や洗濯でした。小さいアーサーには大変な仕事でしたが、アーサーは仲間を助け、困っている人の力となり友となり、親切で誰からも愛されていました。ある日、アーサーは森の奥で迷子になり将来のことを予言する魔法使いのおじいさんに出会います。魔法使いのおじいさんは、アーサーが将来、重要な使命を担うことを予言しアーサーに「人生で一番大切なこと」を教えます。「人生の勉強」です。

おじいさんがアーサーに教えたい人生で一番大切なこととは、「勇気」と“知恵”と“知識”を持つこと」でした。どんな困難も「勇気」と“知恵”と“知識”をもって「乗り越える事」「諦めない事」「チャンスは待っていないで自分で掴む事」を体験させます。アーサーは自らの力で様々な苦難を乗り越えていきます。お城からは【剣試合で優勝した者を王位を継がせる】とお触れがでます。若者たちは剣術や馬術に益々勤しみました。当日、アーサーは出場するケイに伴って試合に行くのですが、ケイが試合に使う大切な剣を宿屋に忘れて来てしまいます。さあ、この困難をアーサーはどのように乗り越えるのでしょうか！！そして国王になるのは誰なのでしょうか！！

年長組は9月からこの「アーサー王誕生物語 ～王様の剣～」のお話で表現遊びを楽しんでいます。パリオリンピックの余韻を楽しみ、毎日、槍投げ、バスケットボール、バレーボール、フェンシングなど様々な種目にチャレンジしました。フェンシングに因み【剣】にまつわるこのお話を聞いた子どもたちは身体表現や言語表現で遊びながら感情移入し「屈強な大人でも抜けなかった剣」の事を考えたり、「本当の強さ」「優しさ」「人生で大切なこと」についても考えながら心をつにしています。年中組は“幼稚園25歳おめでとう！”をテーマに遊んでいます。年少組は忍者が置いていった巻物に書かれた25の修行を只今、修行中です。

運動会は練習を重ねて演技や競技を披露するのではなく、楽しんで身体をいっぱい動かして真剣に取り組み、真剣に闘い、遊ぶ運動会です。

保護者の方々にも『観て楽しい！参加して楽しい！運動会』となりますように。また、保護者の方同士も「ふれあう」機会となることを願っています。暑さ対策、健康対策をしてご観覧いただきますようよろしくお願いいたします。

西神戸YMCA幼稚園は1999年に開園し、今年で26周年を迎えています。1999年4月に生まれて2024年4月で“25歳のお誕生日”を迎えます。今年度の運動会は是非、皆様で幼稚園の“25歳のお誕生日”をお祝いできたらと考えています。ご家族お揃いでご観覧くださいませようよろしくお願いいたします。

【年主題】

『さあ、漕ぎ出そう 奏でよう』

【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」（ヨハネによる福音書14章6節）

10月主題 「ふれあう」

聖句 「ひとりよりもふたりが良い」（コレヘトの言葉4章9節）